

こがねい

2010年8月 第17号

放射能測定室だより

発行：小金井市放射能測定器運営連絡協議会

〈事務局〉小金井市緑町5-19-14-608 Tel/fax: 042-385-6650(江藤)

原発の宿命

それは、地球上に

無限の放射能を蓄積する場所。

そして、

子ども達の未来に

底知れぬ不安を残すこと。



ブルーベリー物語

その後

「それはブルーベリーワインの測定から偶然始まりました。～」と昨年の測定室だよりに掲載したブルーベリー製品の放射能汚染の報告には大きな反響がありました。

その中で、国でも500ベクレルもの高濃度の汚染を検出し、輸入食品の検査基準を強化していたことが分かりました。また、小金井の測定器でも、下の表にあるように今年に入って100ベクレルを超える高濃度の汚染が検出されています(3ページ参照)。

これらの状況を「非核ネットワーク通信」に書かせていただいたところ、「原子力資料情報室通信」のコラムなど、複数の市民メディアがとりあげてくださり、日本消費者連盟の「消費者レポート」にも報告を書きました。原発リスクに関する情報は電力業界の影響の強いマスメディアではとりあげにくいようですが、小金井からの発信がジワジワと広がっていることを感じています。

この貴重な測定器も老朽化は免れません。そろそろその後のことも模索しなければならない時期に来ていますが、今年も可能な限り地道な測定活動を続けていきます。(漢人)

【ブルーベリー製品 2009年度測定結果一覧表】 2009.4月～2010.3月

測定品目	件数	原産国	測定結果(単位・ベクレル/kg)	
ジャム	5	フランス	検出されませんでした	
	1	"	セシウム 137	6.02
	1	"	"	59.91
	1	"	"	19.15
	1	"	"	67.78
	1	スイス	検出されませんでした	
	1	イギリス	"	
	1	イタリア	"	
	1	アメリカ	"	
	1	日本	"	
	1	ドイツ	セシウム 137	12.82
	1	ベルギー	"	43.63
サプリメント	2	フィンランド他	検出されませんでした	
コンポート	1	ベルギー	セシウム 137	116.02
	1	"	"	114.83
ヨーグルト	1	日本	検出されませんでした	
計	21			

再来！食卓のチェルノブイリ ブルーベリーの放射能汚染

漢人明子 (小金井市放射能測定器運営連絡協議会)

市民による放射能測定

小金井市では1986年のチェルノブイリ原発事故を背景とした市民運動の盛り上がりの中で、食品の放射能測定を求める陳情を議会が採択し1990年に市が放射能測定器を購入しました。以来足かけ20年間、市民による「放射能測定器運営連絡協議会」が食品に含まれる放射能を測定しています。

ブルーベリー製品から高濃度放射能

私たちは毎年80件ほどの食材の測定をしています。昨年度はブルーベリーワインからのセシウム検出をきっかけに、ブルーベリー製品24検体を測定しました。その結果、12検体から10ベクレル



制基準370ベクレルをも大きく上回る数値です。**国もベリー類加工品の検査を強化**

この2件の結果を受けて、厚労省の医薬食品局食品安全部監視安全課は昨年12月、各検疫所長に対して検査強化の指導をしています。「旧ソ連原子力発電所事故に係る輸入食品の監視指導について」を改正し、検査対象に「ポーランド、ウクライナ及びスウェーデンから輸入される『ベリー類濃縮加工品』の全ロット検査」を追加したのです。ちなみに、昨年はきのこ3件も規制対象となり、ヨーロッパ地域から輸入される「きのこ及びきのこ乾製品」「トナカイ肉」も全ロット検査の対象になっています。

ただし「全ロット検査」とは、ロットの単位が例えば数万個でも、そのうち1個の抜き取り検査であるため、強化と言えるかは疑問との指摘もあります。**知らされない原発のリスク**

ブルーベリー製品から規制値を超える汚染

昨年8月、ブルーベリー果汁から490ベクレル/リットルのセシウム137が検出され、積戻しされていたことを、『非核ネットワーク通信』138号(2010.3.31発行)で知った。

小金井市議で小金井市放射能測定器運営連絡協議会のメンバーでもある漢人明子さんが「再来！食卓のチェルノブイリブルーベリーの放射能汚染」を報告している。

チェルノブイリ事故後、日本各地に市民が行動することでさまざまな私たちの「放射能測定室」が誕生したが、測定器に寿命がきて買い換える経済的基盤がなかったり、自治体から継続する予算が取れずにやむをえず閉鎖したところもある。

小金井市では1990年に測定器を導入して以来20年間、市民による測定が実施されている。放射能測定器運営連絡協議会では、毎年約80件の測定をして、『はがきニュース 放射能ってどん

な味?』などで広報活動をしている。

2008年4月から09年3月の測定では、ブルーベリー製品(ワイン、ジャム、砂糖煮など)24検体を測定した結果、12検体から10ベクレルを超えるセシウム(最高52ベクレル)が検出された。今年に入って購入したブルーベリーコンポート2検体からも100ベクレルを超えたという。

昨年12月、東京都が実施している市場での抜き取り検査でも、ブルーベリージャムから500ベクレルが検出され、横浜の輸入業者が市内、東京、青森、石川のスーパーから356個の製品の回収を命じられたという。

国の輸入規制の基準値370ベクレル/kg、リットルを大きく上回る製品が、検査をすり抜け、市場に出回っている。これらの事実は、いっさい報道されなかった。20年間、コツコツ測定作業を重ねてきた市民グループが知らせてくれた貴重な情報だ。(渡辺美紀子)

を
ま
件
し
安
ま
ク
と
か
た。
査
に
ル
が
青
森
命
じ

hot news

市民による放射能測定で ブルーベリーから汚染検出！

再来！食卓のチェルノブイリ

小金井市放射能測定器運営連絡協議会

漢人明子

東京・小金井市では、1986年のチェルノブイリ原発事故を背景とした市民運動の盛り上がりの中で、食品の放射能測定を求め陳情を議会が採択し、90年に市が放射能測定器を購入しました。以来20年間、市民による「放射能測定器運営連絡協議会」が、市との協定に基づいて、食品に含まれる放射能を測定しています。

私たち協議会では、毎年80件ほどの食材の測定をしています。2008年度は、市民からの依頼で行なう週1回の定期測定でブルーベリーワインからセシウム137を検出したことをきっかけに、ブルーベリー製品24検体を測定しました。

その結果、12検体から10Bq（ベクレル）を超えるセシウム（最高52Bq）が検出されました。10年に入ってブルーベリーコンポート2検体から100Bqを超える高い値も検出されました。身近なお店で

入手できる食品、それも最近安売りにされている銘柄から複数の高い値が出ています。

国や都の検査でも汚染検出

一方、09年8月には、ブルーベリー果汁からセシウムが490Bq検出され輸入規制の対象としたことを、厚生労働省が公表。さらに12月には、東京都などが実施した抜き取り検査によって、ブルーベリージャムから500Bqが検出され、横浜の輸入業者が市内のほか東京、青森、石川のスーパーから356個の製品の回収を命じられています。い

ずれも、甘すぎずの国の輸入規制基準370Bqをも大きく上回る数値です。この2件の結果を受けて、厚

ブルーベリー製品のセシウム測定結果
(2008年4月～2009年3月)

品名	検体数	検出結果	単位(Bq/kg)
ワイン①	1	不明	10.09
ワイン②	1	不明	≤ 10
ワイン③	1	ドイツ	11.45
乾燥	3	アメリカ	不検出
ジャム①	1	フランス	22.84
ジャム②	1	フランス	14.77
ジャム③	1	フランス	17.92
ジャム④	1	フランス	≤ 10
ジャム⑤	1	フランス	≤ 10
ジャム⑥	1	フランス	不検出
ジャム⑦	1	ベルギー	52.4
ジャム⑧	1	ベルギー	10.56
ジャム⑨	1	ベルギー	34.77
ジャム⑩	1	イギリス	11.16
ジャム⑪	1	イギリス	32.85
ジャム⑫	1	スイス	≤ 10
缶詰	1	アメリカ	不検出
コンポート①	1	ベルギー	10.43
コンポート②	1	ベルギー	49.29
冷凍	1	アメリカ	不検出
ブルーチェ	1	不明	不検出
お茶	1	不明	不検出

小金井市放射能測定器運営連絡協議会調べ

地球温暖化防止を口実にした原発増設の動きもあるいま、その未来にはどんなリスクが伴うのか、ブルーベリーが教えてくれようとしています。

労省医薬食品局食品安全全部監視安課は09年12月、各検査所長に対して検査強化の指導をしています。09年12月18日、通知「旧ソ連原子力発電所事故に係る輸入食品の監視指導について」を改正し、検査対象に「ポーランド、ウクライナ及びスウェーデンから輸入される『ベリー類濃縮加工品』の全ロット検査」を追加したのです。ちなみに、09年はキノコ3件も規制対象となり、ヨーロッパ地域から輸入される「きのこ及びきのこ乾製品」「トナカイ肉」も全ロット検

査の対象になっています。ただし「全ロット検査」とは、ロットの単位がたとえ数万個でも、そのうち1個の抜き取り検査であるため、強化と言えるかは疑問との指摘もあります。

ブルーベリーが教える未来
チェルノブイリ原発事故で放出された放射性セシウム137の半減期は30年で、ヨーロッパではいまだに高濃度の汚染地域があります。近頃のブルーベリーブームで、それらの地域のものが出回っているのではないかと、あるいは栽培に必須のピートモス（泥炭の一種）に、この地域の高濃度汚染のものが使われているのではないかと推測することができます。

事故から24年が経とうとする中、放射能汚染食品は再び遠く離れた私たちの食卓にまで登場しようとしています。ところが、これらの情報はほとんど報道もされず、問題にされ難くなっています。

【2009年度測定結果一覧表】

(2009年4月～2010年3月)

	測定品目	件数	原産国	測定結果(単位・ベクレル/kg)
乳製品	粉ミルク	2	不明	検出されませんでした
	スキムミルク他	3	日本など	"
穀類など	雑穀	1	日本	"
	米	1	"	"
	小麦粉	1	"	"
	くず粉	1	"	"
お茶など	茶葉	1	"	"
	ほうじ茶	1	"	"
	紅茶	2	ブルンジ他	"
	コーヒー粉	1	不明	"
	粉末アップルティー	1	トルコ	"
	ココア	1	不明	"
海産物	チリメン昆布	1	日本	"
キノコ	干パルチーニ	1	イタリア	セシウム137 44.01ベクレル
	干シイタケ	1	日本	セシウム137 18.49ベクレル
その他	ローリエ	1	"	検出されませんでした
	煎りゴマ	1	不明	"
	シリアル	2	ドイツ他	"
	即席麺	1	不明	"
	カレールウ	1	"	"
	コーンスターチ	1	"	"
	塩	1	"	"
	ビスケット	1	オーストラリア	"
ブルーベリー製品	別紙詳細	21		
合計				49

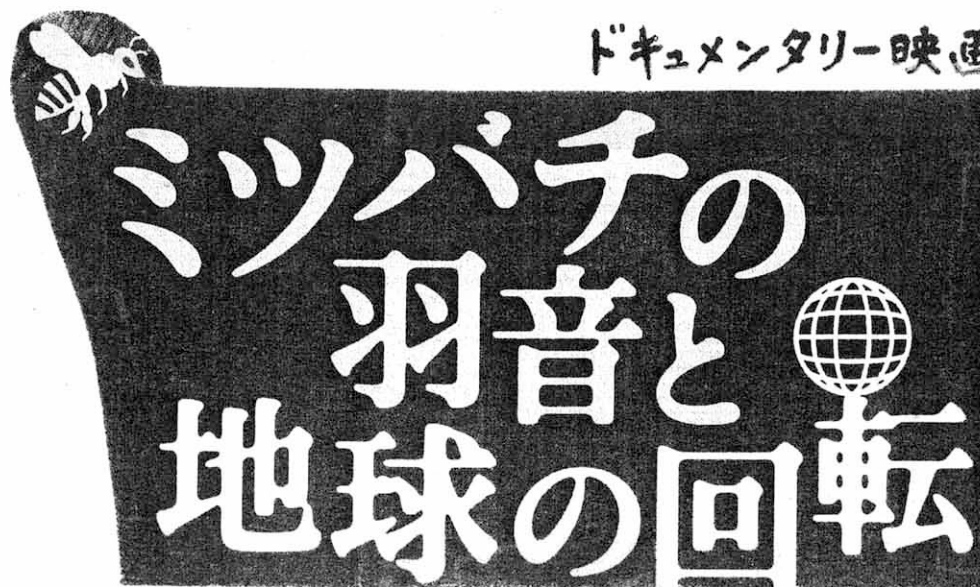
☆以上の他、保育園、学校給食材29件を測定しました。内1件から10ベクレルを超える放射能を検出しました。

保育園給食材 干シイタケ(大分) セシウム 25.91ベクレル

☆セシウムはチェルノブイリ原発事故によって大量に放出された放射能です。国産干しシイタケの放射能は、チェルノブイリ事故以前の核実験による蓄積とされています。干しシイタケの場合は水戻しなど調理がされますし、一度に大量に食べるものではないので、ただちに問題になる数値ではありませんが、いったん環境中に出てしまった放射能は、セシウムの場合でも半分の量になるの30年の時間がかかり、その間つねに、食物を通じて体に取り込まれます。

☆ヨウ化ナトリウム検出器で200cc6時間測定しています。

ドキュメンタリー映画



ミツバチの 羽音と地球の回転

映画「ヒバクシャ 世界の終わりに(2003年公開)」、「六ヶ所村ラブソディー(2006年公開)」を世に出し、核・放射能とともにある今の私たちの姿を追い続けている鎌仲ひとみ監督の最新作、「ミツバチの羽音と地球の回転」が今春完成しました。今回監督が撮ったのは遠い北欧の国・スウェーデンと、30年近くも対岸での上関原子力発電所建設計画に対し反対運動をねばり強く続けてきた瀬戸内海の小さな島・祝島の人々です。5月から6月にかけてのお披露目上映会においては3日間で1100名を超える入場者を集め、多くの人々より熱い支持を受けました。現在全国各地で自主上映会が展開されています。

◆ 舞台は・・・スウェーデンと祝島

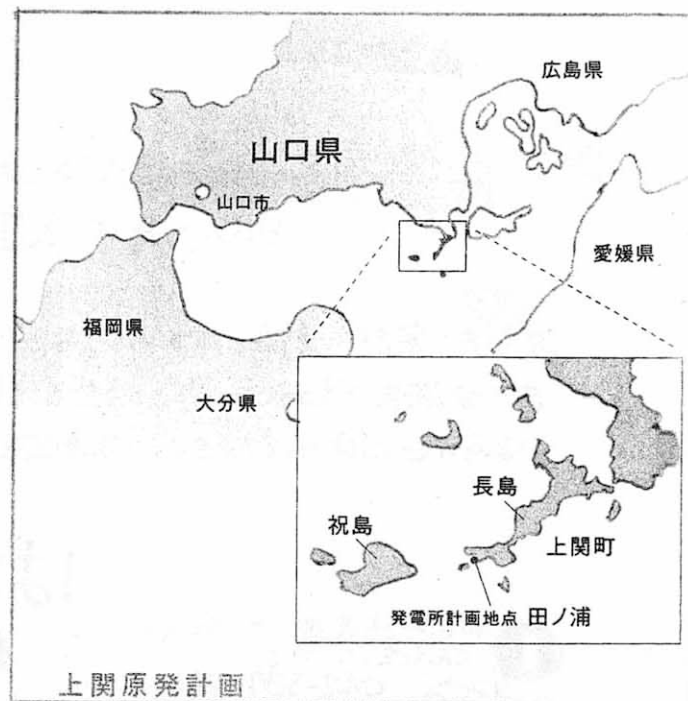
瀬戸内海に浮かぶ小さな島・祝島ではその先わずか4キロメートルの対岸に原子力発電所建設計画が浮上した1982年より住民が一貫して建設に反対し続けてきました。カメラは島の人々の暮らしに寄り添います。

一方スウェーデンでは国民投票によって脱原発を決め、2020年までに石油にも依存しない社会づくりをめざしています。スウェーデンでの取り組みは大変興味深いものとして私たちに多くを投げかけます。

この映画を通して「持続可能」という言葉を問い直し、未来を探って行こうとする監督の眼差しの先には新たな一歩への可能性が強く感じられます。

◆ 上関原発建設計画とは？

祝島の対岸に建設予定の上関原子力発電所は貴重な海を埋め立てて建設される計画です。祝島の漁業従事者は補償金の受け取りを拒否し続けており、地元の合意が得られていない中で、中国電力は昨年埋め立て工事に着手しました。開発が進んだ瀬戸内海で自然の海岸が残っているのは約2割ですが、建設予定地である上関町には実に7割以上自然の海岸が残っているのです。豊かな自然とそれを大切にしてきた人々の暮らしは何としても守られなければなりません。



◆ ひきつづき署名を集めています。

上関原発建設計画の中止を求める署名活動においては、たくさんの方が高い関心と計画に対する反対の意思を寄せて下さいました。この間全国で集められた合計 85 万 1488 人分の署名は、昨年の5月と10月の2回にわたり、経済産業省に対して提出されました。引き続き100万人署名を目指して署名活動が続けられています。上映会会場でも集めますので、ぜひご協力下さい。

自主上映会をやります！

日程： 2010年 11月 14日（日）

会場： 小金井市公民館本館（福社会館内） 視聴覚室

上映予定時間： 第1回上映… 10：00 ～

第2回上映… 13：00 ～

トークタイム… 15：30 ～

（監督のミニトークを予定しています。）

第3回上映… 17：30 ～

上映協力券： 前売 1000円

当日 1200円

主催： 小金井市放射能測定器運営連絡協議会

▶ 測定依頼をお寄せください!!

申し込み方法等は

です。よろしく
お願いします

なお、実際に測定にかかりたい方、
町に協議会に参加したい方、いつでも募集して
いますのでご連絡ください。大歓迎です

はかってほしい時は

① 市役所経済課にお問い合わせの
でんわをしてください。
042-387-9831
(経済課)

② 測定日の指定が
あります。
CPAB
にお願い
ください

③ 指定日の朝9:00に検体(はかりたいの)
を市庁舎に持ち寄り、検体全測定前に
わたします。(検体は細かく、入れておくこと)

④ 受付票に
必要事項を記入。

測定中
6年間測定あり。

⑤ 夕方、検体を引き取りに来てください。
測定結果を記入した測定票を返却してくださ
い

* 370N7L
以上が検体された場合は別途、
測定票を返却いたしますので、持参
いただいた検体は返却できません

★ 200ccの容量が必須です。
(スリッパでは150gくらい)など、
容器によって重さが異なるので、
検体袋に可視合わせてください。

★ 食品に限りません。
★ 無料です。